

●患者指導の実施に関して、あてはまる数字を○で囲んでください。

\* 4:できている            3:ある程度できている  
2:あまりできていない    1:できていない

因子1:アセスメント				
q01	患者の理解力、記憶力、感覚機能障害についてアセスメントしている	4	3	2 1
q02	患者の生活習慣、健康管理、コーピングについてアセスメントしている	4	3	2 1
q03	患者の疾患の受け止め方、心理状態についてアセスメントしている	4	3	2 1
q04	患者が持っている知識、知りたい知識・技術についてアセスメントしている	4	3	2 1
q05	患者が今後改善すべき生活習慣について予測できているかをアセスメントしている	4	3	2 1
q06	患者が医療者に対してどのような思いをもっているかをアセスメントしている	4	3	2 1
q07	患者の病態、治療内容についてアセスメントしている	4	3	2 1
q08	患者の療養に対する家族の思い、心配事、協力についてアセスメントしている	4	3	2 1
q09	家族への指導の必要性についてアセスメントしている	4	3	2 1
q10	患者に必要な社会資源についてアセスメントしている	4	3	2 1
因子2:計画立案				
q11	指導目的にあった形式(例:講義、演習など)および時間を設定している	4	3	2 1
q12	1回ごとの指導は、導入・展開・まとめで組み立てている	4	3	2 1
q13	導入時は患者の興味・関心をひきつけるような内容・方法を考えている	4	3	2 1
q14	患者に適した教材を選択または工夫している	4	3	2 1
因子3:実践				
q15	わかりやすさに配慮した指導をしている (適切な声の大きさ・スピード、わかりやすい言葉、重要な点は強調するなど)	4	3	2 1
q16	一方的な押しつけにならないように指導している	4	3	2 1
q17	指導中の患者の反応を見ながら、体調、集中力、理解度などを確認し進めている	4	3	2 1
q18	共感的な姿勢で指導している (一緒に学ぶ、患者の話をよく聞き、考えや行動を受け入れる、話しやすい雰囲気など)	4	3	2 1
q19	自分の指導観(指導に対する考え)や対象者観(指導する対象者への思い)を意識している	4	3	2 1
因子4:評価				
q20	患者にとって達成可能な短期・長期目標および評価日を設定している	4	3	2 1
q21	計画した評価日に明確な達成基準で、短期・長期目標の達成度を評価している	4	3	2 1
q22	目標の設定は妥当であったか評価している	4	3	2 1
q23	指導ごとに学習目標の達成度を評価し、その結果によって目標や計画を修正している	4	3	2 1
q24	指導計画には目標、内容、方法などを盛り込み、記録として残している	4	3	2 1
q25	患者のアセスメントが適切であったかを評価している	4	3	2 1
q26	指導実施計画が適切であったかを評価している	4	3	2 1
q27	指導の実施が適切であったかを評価している	4	3	2 1
q28	指導内容を患者がどのように実践しているか評価している	4	3	2 1
q29	指導計画の立案、実践、目標の達成度の評価方法が妥当であったか評価している	4	3	2 1
q30	評価の結果を次回の指導に生かしている	4	3	2 1